

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	気候変動に対応した水量・水質一体管理のあり方に関する調査経費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H22~		担当課室	水資源計画課		課長 宮崎 正信	
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	少雨化や降水量の変動幅拡大などの影響による渇水リスクの拡大に対し、既存施設の効率的利用や水系間・用途間の水融通などによる、安全で安心な水供給の確保並びに、未曾有の渇水に対する社会経済活動への影響を最小化するための対応策をとりまとめることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	水量の変動が水質に与える影響について把握するため、最新の研究成果及び既往渇水時の水量・水質のデータについて整理・分析をおこなった。 気候変動の要因による水量・水質への影響を定量的に把握するため、2水系をモデルに、既存の気候変動予測結果等をもとに、水量等に関する試算を行い、水利用への影響について分析整理をおこなった。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	11	21	19
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	11	21	19
	執行額	-	-	7	-	-	
	執行率(%)	-	-	67.7	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	渇水影響度 (渇水による影響を、取水制限率と取水制限日数との積で表したものの)		成果実績	-	-	2,255日・%	5,300日・% (23年時点の過去5年平均)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査流域		活動実績 (当初見込み)	流域	-	-	2 (2) (3)
単位当たりコスト	4(3.720百万円/2流域)		算出根拠	実績額:22年度実績額 7.440百万円 流域数:22年度流域数 2流域			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.456	0.437	【職員旅費】			
	水資源対策調査費	20.572	17.853	旅費単価の見直しによる減額			
	諸謝金		0.180	【水資源対策調査費】			
	委員等旅費		0.452	調査・検討にかかる人件費の減額			
				【諸謝金及び委員等旅費】			
	計	21.028	18.922	気候変動を専門とする学識経験者等による委員会を開催するための増額			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度の業務発注については、より競争性を高めた契約手続き(総合評価落札方式)を採用することにより、効率的・効果的で競争性を確保した予算執行を図った。		
予算監視・効率化チームの所見			
		引き続き効率的な事業実施を図るとともに、気候変動に対応した水量・水質一体管理について実効性のある政策効果を得るものとする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
引き続き効率的な事業実施を図ることとし、実効性のある政策効果を得るため、気候変動による水資源への影響を水量・水質について定量的に把握し、実効性のある適応策の検討をすすめる。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
なし			

※平成22年度実績を記入

国土交通省
7百万円

各業務の発注及び監督

【一般競争入札】

A. 民間企業(1社)
7百万円

気候変動による水資源
への影響検討業務

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直接人件費	直接人件費	3			
諸経費	諸経費	3			
技術経費	技術経費	1			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パンフィックコンサルタンツ(株)	気候変動による水資源への影響検討業務	7	3	67.5
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					